

授業科目名	研究ゼミナールⅠ	担当教員	◎久保幸代、○千葉恵子、○有家 香、足立智孝、大野知代、岡本明美、志村千鶴子、長江弘子、鶴岡章子、栗栖千幸、榎本輝樹、中島洋一、川上裕子、千葉恵子、松本幸枝、鶴沢淳子、青山美紀子、下 睦子、潮田千寿子、路 璐、吉野妙子、那須真弓、山田案美加、松丸直美、鈴木玲子、中川泰弥、高橋玲子、佐々木亜希子	科目ナンバリング NM498
必修	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間	

### 【授業概要】

研究ゼミナールⅠでは、看護に関連した現象を選び、それに関する文献を広く読み、エビデンスを見出す。「看護研究」において検討したテーマをもとに、それに関する文献を広く読み、研究課題を明確にする。グループで討議することで批判的思考を培う。

### 【達成目標】

1. グループ・ディスカッションにおいて積極的に討論できる。
2. 学生は教員との定期的な接点を持ち主体的に演習に取り組むことができる。
3. 看護に関連する研究テーマを設定できる。
4. 研究テーマに関連する文献検索・クリティークができる。
5. 文献レビューを行い研究目的・研究の意義を記述することができる。

### 【履修条件】

「看護研究」を修得していること。

### 【授業計画】

- [01] 全体ガイダンスおよび看護研究と倫理 (有家・足立)
- [02] 担当領域オリエンテーション
- [03] 領域別 グループ・ディスカッション研究テーマの決定①
- [04] 領域別 グループ・ディスカッション研究テーマの決定②
- [05] 文献検索・文献レビュー①
- [06] 文献検索・文献レビュー②
- [07] 文献検索・文献レビュー③
- [08] 文献検索・文献レビュー④
- [09] 文献検索・文献レビュー⑤
- [10] 文献検索・文献レビュー⑥
- [11] 領域別 グループ・ディスカッション研究目的・研究の意義①
- [12] 領域別 グループ・ディスカッション研究目的・研究の意義②
- [13] 領域別 グループ・ディスカッション研究目的・研究の意義③
- [14] 領域別 グループ・ディスカッション研究目的・研究の意義④
- [15] 研究ゼミナールⅡに向けた全体ガイダンス (有家・千葉)

### 【教科書】

坂下玲子、宮芝智子、小野博史(2016). 系統別看護学講座 別冊 看護研究, 医学書院.

### 【参考書】

大木秀一(2015). 看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん, 医歯薬出版.

### 【評価方法・評価基準】

文献レビュー50%、研究テーマ・研究目的・研究の意義の記述30%、グループ・ディスカッションでの討論20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：自らの研究テーマを明確にし、文献レビュー、研究目的・研究の意義の記述を進める。(1時間)  
事後学習：グループメンバーや教員からの助言を吟味し、文献レビュー、研究目的・研究の意義を再考する。(1時間)

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. 継続的に専門性を向上させる実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

研究計画書を作成し、領域内で計画書の発表、ディスカッションを行い学びを深める。研究計画書は別途評価基準を示し、評価項目に沿って評価し、個人にフィードバックする。

### 【備考】

看護研究、研究ゼミナールⅡと関連が深い。特に、研究ゼミナールⅡで行う研究論文作成に向け、研究実施可能な研究計画書を完成できるよう、主体的に学習を進める。